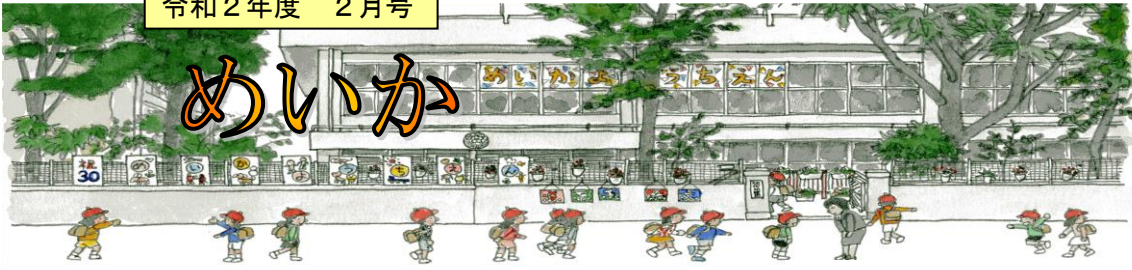


令和2年度 2月号

# めいか



令和3年1月30日  
文京区立明化幼稚園

## 春がそこまで来ています

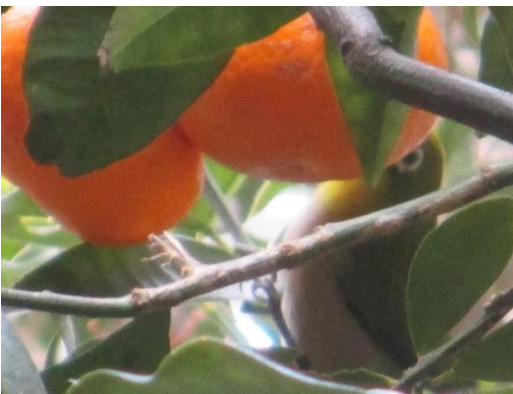
副園長 西郡 千晴

先日、裏庭で実ったミカンの最後の収穫を行いました。各ご家庭で味わっていただけたことと思います。収穫していると、道行く人から「たくさん実っていて凄いですね」「何本の木があるのですか」など声を掛けられ、会話がはずみます。人との接触が阻まれる昨今の状況ですが、幼稚園の塀越しにちょっとした会話を楽しむひとときが久しぶりで嬉しい気持ちになりました。そんな裏庭があるとはいえ、改築工事中でかなり限られた自然環境となっていることが現在の明化幼稚園の悩みです。そこで、子どもたちの目に入るところに小さな自然環境を置いています。受付に置いている小さな鉢をご覧くださいましたか？植えられているのは福寿草です。幼稚園でよく歌う『カレンダーマーチ』の1節に「…2月の庭にはフクジュソウ…」という歌詞が出てきます。なかなか身近では見られなくなったものですので小さな鉢で飾りました。つぼみはまだ固くじっと力を蓄えているようです。保育室では、球根の水栽培を行っています。こちらも開花まではもう少し時間がかかりそうですが、毎日水替えをしながら子どもたちは楽しみにしています。

今年の節分は124年ぶりに2月2日となるそうです。節分は1000年昔の平安時代に疫病を退散させる願いを込めて始まった儀式といわれるものですが、現代の私たちも同じ願いで節分を迎え、1日も早く疫病に悩むことのない日々を迎えたいですね。



福寿草（フクジュソウ）



子どもたちを迎える朝、ミカンを食べにやって来たメジロを発見！ 「おいしいミカンだな」